



秋の味覚を満喫 ~ 岐阜県農業フェスティバル ~ (記事・3頁)



岐阜県
中小企業団体中央会
 岐阜市藪田南5丁目14番53号
 岐阜県県民ふれあい会館12階
 毎月15日発行
 購読料 年間1,500円(1部125円)
 発行人 森本安彦
 事務局直通電話
 管理調整 予-A058-277-1100(代)
 広報振興 予-A 058-277-1101
 組織指導 予-A 058-277-1102
 調査労働 予-A 058-277-1103
 情報企画 予-A 058-277-1104
 事務局FAX番号 058-273-3930

主な記事

- 第53回中小企業団体全国大会(長野県) 2
 県農業フェスティバル、高山市で地域交流会開催 3
 組合等の動き神岡町スカイドライブエスタ東濃各地の美濃焼まつり他) 4・5
 深し平上りぞろぞろ 6 九月の景況調査 7 支所だより 8
 事務局だより(秋の叙勲・褒章、商工中金新設組合への貸付制度)他) 9



九月の日本の完全失業率が一九五年の調査開始以来、最悪の五・三%となった。

完全失業者数は、前年同月より三十七万人増えて過去最悪の三百五十七万人。有効求人倍率も前月を〇・二ポイント下回り〇・五七倍と、三カ月連続して過去最悪を更新した。

その最大の理由は、情報技術(IT)不況に伴うリストラで、電機大手が総計五万人の人員削減や、大手スーパーのマイカルなどの経営破綻が大きく響いている。

さらに、米国の同時多発テロなどにより、雇用情勢はますます悪化する可能性が高く、極めて深刻な状況である。

国においても、景気の悪化や不良債権処理などの影響で今後も失業者の増加が見込まれ、「失業者を出さない対策」が急務であり、側面的な支援策の検討がなされている。

このような状況の中で、「ワークシェアリング」(仕事の分かち合い)の導入論が高まっている。

ワークシェアリング も一案

雇用・失業対策

もつなくことができる。
 一般労働者にワークシェアリングを導入した場合、二百十万人の雇用創出効果が期待されている。大量の失業者が見込まれる中で、労働者・使用者側双方が、現状を再認識して雇用の維持・創出と雇用不安の解消のためにあらゆる方策を考え、今こそ抜本的に見直す時期にきている。

具体的には、パート労働者を基本にすることで一人当たりの労働時間を短縮(時短)し、空いた職場に失業者を呼び込み失業率を下げる。所得収入)の考え方を個人から家計中心に切り替える。例えば、労働時間を半分に短縮し、パート化した夫の収入が従来給料の七十五%に減っても、妻が労働に参加し七十五%の収入を得れば、家計としては一五〇%の収入になる仕組みである。

これは、一人当たりの賃金を減らし、仕事を分け合うことで、雇用を維持・創出する」という取り組みである。

「仕事の分かち合い」で余裕ができた時間を家族とのだんらんや趣味・スポーツ・ボランティアなどに生かすことにより、新たな消費に

構造改革に資する景気対策 16項目を決議、国等へ要望

長野県で第53回全国大会を開催

第53回中小企業団体全国大会は、連携・創造・挑戦 新世紀に翔け中小企業をキャッチアップに十月二十五日、長野市スポーツアリーナ・ビッグハットで開催。大会には全国各地から約五千五百人の中小企業者が集まり、岐阜県からは四十三人が参加した。十五の決議と一つの特別議決を採択し、今後、国等へ陳情・要望を行い、決議事項の実現を目指す。また、大会前には県選出の古屋経済副大臣との懇談会に社会長も出席し、意見交換を行った。



第53回全国大会・議事



古屋副大臣との懇談会

大会の審議では各県の会長を代表して、兵庫中央会の在田一雄会長が、景気対策の早期実施・創業・経営革新及び中小企業連携組織対策に対する支援強化、富山中央会の西田東作会長が、金融セーフティネットの強化等中小企業金融対策の充実並びに商工中金等政府系中小企業三金融機関の民間金融補充機能の維持、長野中央会の市川浩一郎理事が、「外形標準課税導入絶対反対並

びに事業承継税制の拡充」の意見発表を行い、十五決議事項と一つの特別議決を採択し、国等の関係機関に後日、陳情・要望活動を行うこととなった。

決議事項は次のとおり。
デフレ脱却のための適切なマクロ経済運営の推進

中小企業対策予算の大幅な増額
金融セーフティネットの強化等中小企業金融対策の充実

創業・経営革新支援及び中小企業連携組織対策の充実強化
IT革命への対応円滑化のための支援の強化
法人事業税への外形標準課税導入絶対反対

事業承継・第二創業促進のための税制の一層の拡充
中小企業関係税制の一層の拡充
信用組合の充実強化
雇用セーフティネット等中小企業労働対策の充実
循環型社会の構築・安全対策のための支援策の拡充

まちづくり、中小商業・サービス業への支援策の充実
不当販売の防止、下請取引の適正化等公正取引の確保
中小企業向け官公需の増大と受注環境の整備・改善

地域中小企業活性化対策の拡充
(特別決議)商工中金等政府系中小企業三金融機関の民間金融補充機能の維持

また、表彰式では優良組合四一組合、組合功労者六七人、中央会優秀専従者三三人が全国中央会長表彰を受賞した。岐阜県からの被表彰者は次のとおり。

優良組合「多治見美濃焼卸センター」協同組合 藤垣孟理事(長)
組合功労者「岩田仲雄氏(岐阜県毛織工業協同組合理事)」

なお、次期開催地は埼玉県で、平成十四年十月十七日に、さいたまスーパーアリーナで開催されることとなった。

同組合は五十年の歴史があり、企業の現状を一番理解している。協同組合こそがセーフティネットの役割を担うべき。そのために大企業等でリストラされた優秀な人材を活路開拓アドバイザーとして組合に国の財源で派遣し、海外・新技術・経営などの支援を行っていただきたいと古屋副大臣に意見発表を行った。

古屋経済産業副大臣との懇談会

全国大会開催前に、古屋経済産業副大臣との懇談会を開催した。主な出席者は、古屋圭司副大臣、杉山秀一中小企業庁長官、江崎商工中金理事長、大河内信行全中会長、和田守也長野県中央会長、辻正岐阜県中央会長ら十八人が出席した。中小企業を取り巻く現状について懇談が行われ、社会長は協

県特産品・秋の味覚を満喫

県農業フェスティバルが開催

岐阜県農業フェスティバル実行委員会(構成二二団体)は、『第15回岐阜県農業フェスティバル』を十月二十七日から二日間、岐阜アリーナ及びその周辺で開催し、両日で約十五万人の人出で賑わった。

フェスティバルは、「二〇〇〇年県民の健康を守る岐阜県農業」をテーマに約三七〇団体が出展した。狂牛病問題で食の安全性・信頼性が問われる中、恒例の飛騨牛のバーベキューも行われ、ぎふクリーン農業のアピールで生産者と消費者の信頼の交流が



県農業フェスティバル・岐阜市

広がり、大盛況であった。

また、各市町村の物産販売では秋の新鮮な農産物が販売されたほか、フラワーフェア、ひだみの屋台横丁、木と森のふれあ

未来工業(株)の武山社長が講話

高山市で地域交流会開催

中央会は十一月二日に高山市の飛騨総合庁舎で、地域交流会を開催した。

中央会のPRと地域との交流等を目的に高山市及び大野郡を対象に開催。午前の多角的連携交流会では高山商工会議所



地域交流会での基調講話・高山市

いフェアなどのイベントが開かれ、大勢の来場者が、県の特産品や秋の味覚・自然を満喫した。岐阜県食品産業協議会(安江政弘会長)も二九組合・企業が

大野郡内の各商工会と意見情報交換、午後は地域交流会として、組合等や中小企業者を対象に基調講話や個別相談を行った。

基調講話には、組合等や中小企業者、来賓の県農林商工部局工局経営支援課の松岡利雄課長

補佐ら約百人が出席。開会で中央会の関道朗副会長協同組合飛騨木工連合会理事長はこの交流会により、活きた人づくりが飛騨の企業運営に芽生えることを期待しているとあいさつした。その後、未来工業(株)の武山博取締役社長が人づくり・ものづくりの原点と題して基調講話を行った。

武山社長は、自社の常に考える」といふ社を説明しながら「ものづくりでは、普段からなぜか?という疑問を持ち、考えるく

経営に関するあらゆる相談お気軽に

診断から支援へ

Management Solution【経営の問題解決】

コンサルティング・講師の派遣・調査、研究



皆様へお手伝いできる業務
 創業支援・ベンチャー支援・ISO取得支援
 生産管理・品質管理・マーケティング・商店経営
 中心市街地活性化・賃金労務・農業経営
 新商品開発・教育訓練・病院経営

社団法人

中小企業診断協会

岐阜県支部

〒500 8288 岐阜市中鷯3 70 7

Tel 058 278 3608

Fax 058 278 3609

E-mail gifu-s@jupiter.plala.or.jp

参議院経済産業委員会との懇談

地元経済団体が委員会へ提言

参議院経済産業委員会による『経済団体との懇談会』が、十一月六日に名古屋市の名古屋観光ホテルで行われた。

懇談会には、参議院経済産業委員会から保坂三蔵委員長、県選出の松田岩夫理事ら十六人、地元経済団体として岐阜県中央会の辻正会長のほか、愛知県中央

せを付けないと良いアイデアは生まれにくい。人づくりも同じで、自ら考えさせることは重要などと述べた。

会、岐阜県商工会議所連合会など九団体の代表者が出席し、委員会の提言を行った。

辻会長は協同組合こそが中小企業のセーフティネットであるとし、「リストラされた優秀な人材を、国費により組合の活路開拓アドバイザーとして活用すべき」と提言し、委員の注目を浴びた。

活気あふれる大廉売市

第34回関市刃物まつり

関市刃物まつり協賛会ほか主催、県関刃物産業連合会ほか後援の『第34回関市刃物まつり』が十月十三日から二日間、関市本町通りを中心に開催された。まつりのメインは本町通りでの『刃物大廉売市』で、刃物関連業者五十九社がテントを並べた。包丁や植木ばさみ、ナイフなど、豊富な品揃えで格安に販売されていたほか、各種台所用品も販売され、関の刃物を目当てに訪れた大勢の買い物を賑わった。

そのほか、古式日本刀鍛錬の



第34回関市刃物まつり

一般公開やアウトドアナイフ

試作品など多彩な出品

秋の美濃焼新作展示会

岐阜県陶磁器工業協同組合連合会(宮地吾郎理事長)主催の『2001秋の美濃焼新作展示会』が、二十日から三日間、土岐市土岐津町のセラトピア土岐で開催された。この展示会は、組合員の産地メーカーを対象に、市場開拓に向けた新製品を募集して実施しているもので、多治見市や土岐市などから九十三社が約二〇



秋の美濃焼新作展示会

シヨウなど、関市内各所で様々なイベントが行われ、市内は買い物客や観光客であふれていた。

点を展示した。

今回は、「伝統×革新、美濃DNA」をテーマに、「こま犬のミニチュア」などの多彩な陶磁器のほか、商品化されていない試作品も出品。会場には大勢の産地卸商社関係者が訪れた。また、中小企業庁長官賞など

厳選された展示・即売

岐阜で全国銘木展示大会開催

入賞作品二十七点 入選作品二十点を表彰した。

銘木業界最大の催し『第45回全国銘木展示大会』(全国銘木連合会主催)が十一月十一日から五日間、岐阜県銘木協同組合(藤政廣理事長)の市場内で開催された。同組合が実行団体となり、岐阜では六年ぶり三度目の開催。銘木は、杉やヒノキ、ケヤキ、カキ等の高齢樹や巨木のことで、岐阜県は奈良県に次いで取扱量が全国で二番目。

十一日は一般にも公開され、奈良の吉野杉や天然秋田杉、岐阜産の杉類のほか木曾ヒノキ、熊本・阿蘇産のケヤキ類などが全国から集められ、原木や半製品、テーブルなどの製品が多数展示された。

十三日にはグランヴェール岐山で大会記念式典と表彰式、十四日には製品即売、十五日には原木即売がせりで行われ、全国から大勢の木材業者らが来場し、次々とせり落としていた。

熱気球で空中遊泳を体験

神岡町で宙(スカイ)ドームフェスタ

神岡特産開発協同組合(老田哲康理事長)は、十月二十日から二日間、吉城郡神岡町の星の駅・宙(スカイ)ドーム神岡で、宙



スカイドームフェスタで熱気球体験 神岡町

ドームフェスタ』を開催した。フェスタでは約二十メートル上空まで空中遊泳できる熱気球の乗船体験が多くの来場者の人気を呼んだ。

そのほか、宙をテーマに募集した児童の絵やスペースシャトルで宇宙飛行をした宇宙メダカの子孫が展示され、来場者の注目を浴びた。



第45回全国銘木展示大会

土岐市で特色ある美濃焼まつり

土岐美濃焼卸団地と美濃陶芸村で開催

協同組合土岐美濃焼卸センター(白石仲七理事長)は、十月二十七日から二日間、第2回秋の土岐美濃焼まつり『織部街道蔵出祭』を土岐市の土岐美濃焼卸商業団地で開催した。

団地内を一般消費者に開放し、組合員二十社の蔵出しセールや廉売デント市等を開催。

注目は、組合会館大ホールでの「テーブルウェア・コーディネートショー」で、組合員企業や一般個人等が、心をいやすおもてなしをテーマにした作品を二十点出品、美濃焼を使った



秋の土岐美濃焼まつり

多彩な食卓コーディネートが多きの来場者の関心を集めた。

主催者は、この秋のまつりについて「販売主体の春のまつりとは違う、文化的で提案・参加型のまつりにしていきたい。テーブルコーディネートショー

は、特に女性の関心が高く、美濃焼の新たな魅力が伝わるのでは」とPRしていた。

同日、土岐市泉久尻の美濃陶芸村では『第18回土岐美濃焼伝統工芸品まつり』(実行委員会ほか主催、美濃焼伝統工芸品協同組合(小栗靖理事長)ほか共催)



土岐美濃焼伝統工芸品まつり

が「見つけて下さい、あなたの器」をテーマに開催。

大テント村では、二十店舗が織部や志野など手作りの工芸品を市価の五割引で販売したほか

「陶器コイン」を限定販売

美濃焼窯場めぐり開催

多治見市、土岐市と笠原町の美濃焼四産地(市之倉・駄知・下石・笠原)で十一月三日から二日間、『美濃焼窯場めぐり』が同時開催された。

今回、四産地の共通企画として、イベント終了後一年間は約四十の加盟店で陶磁器等を割引で購入できる「陶器のコイン」(千円)を限定販売し、人気を

呼んだ。

陶の里フェスティバル(市之倉)市之倉陶磁器工業協) 市之倉体育館・運動広場他

駄知どんぶりまつり(駄知陶磁器工業協) 駄知町東駅前

下石とえらあええ陶器祭り(下石陶磁器工業協) 組合会館・楽習舎他

市内在住の陶芸家十二人が自宅の工房を開放し、庭先等で作品を直売。自然に囲まれた村内を散策しながら美濃焼を堪能する大勢の家族連れで賑わった。



美濃焼窯場めぐり・下石

県図書館へ拡大鏡セット寄付

県眼鏡商業協同組合(渡邊克郎理事長)は、十月十九日に、照明装置を内蔵した拡大鏡と書見台を岐阜市宇佐の県図書館へ寄付した。

視機能の低下により、読書の際に拡大・照明器具の補助を必要とする人が増加していることから、組合創立40周年記念の社会貢献事業として行った。

同組合は、視覚障害者施設へのボランティアや寄付のほか、青年部が中心となり岐阜大学と共同で眼鏡関連製品などの研究開発に取り組むことも検討するなど、眼鏡関連分野での社会貢献に積極的に取り組んでいる。

図書館での贈呈式では渡邊理

眼鏡商・拡大鏡セットの寄付



かさはら窺くれ祭り(笠原町美濃焼振興協議会) 笠原町中央公民館前広場他

海外駐在員レポート

米国市場へのベースキャンプ

岐阜県ロサンゼルス駐在員 佐々木 康二

海外市場と中小企業

米国の輸出業者の97%は中小企業と言われている。米国下院のsmall・ビジネス委員会での発言を聞くと、2,500万を越える小規模企業が米国経済の主力であり、新規雇用の4分の3を生み出していること、対外市場から恩恵を受けているのは、巷に言われるような大規模な多国籍企業ではなく、中小企業であることが力説され、自由貿易の維持・対外投資促進こそは、中小企業の将来とその従業員にとって不可欠なものであると主張されている。

一方、県内企業の海外展開実態調査が、輸出入の現状、海外展開の状況等を明らかにしているが、輸出あるいは海外展開の問題点として、為替レートの不安定とともに、海外市場の情報不足、ノウハウ不足、労務人事管理といった問題点を掲げている。

本稿では、米国進出を行おうとする日本企業を対象に、創業支援を中心とするサービス提供を最近本格化した企業を取材したので、その概要を紹介する。

創業等を支援する「Ji2」

Ji2は、JapanTech Infrastructure&Incubation, Inc.の略であり、米国市場へのビジネス・ベースキャンプの提供をその役割とする。

主なサービス内容は、スタートアップ・コンサルティング(創業支援、新規事業支援、技術・製品の販売戦略立案、技術提携のコーディネート、マーケット調査、M&A) 情報の収集・提供(バイオ、エンターテインメント、ITを中心とする南カリフォルニアにおけるベンチャー企業及び技術情報の収集・提供) オフィス・リース(短期オフィス・レンタル及び中長期オフィス・リース(専用デスク、パソコン、コピー等



アメリカでの創業支援に期待がかかる「Ji2」

の利用)と日英バイリンガル秘書である。

カリフォルニア州オレンジ郡に立地している魅力もある。ここは、全米でも急成長している研究開発都市であり、カリフォルニア州立大学アーバイン校を中心に、シスコ社、ディズニー社等が立地している。また、バイオで有名な同州サンディエゴ市にも近接している。

日本大学によるバックアップ

スタッフは、Ji2USAの代表取締役が藤澤哲雄氏、副社長は仁位清丸氏、Ji2東京の取締役・東京オフィス代表が、菅澤喜男氏(日本大学大学院グローバルビジネス研究科教授)、東京オフィス・マネージャーが柳川千恵子氏(朝日航空サービス(株)代表取締役社長)で構成される。スペシャリストとして、オマーン・バルベルド弁護士、ルイス・ゴ米国公認会計士、アドバイザーとして、柳下和夫氏(日本大学大学院グローバルビジネス研究科教授・元三菱電機(株)開発本部研究主監) 杉野昇氏(日本大学大学院グローバルビジネス研究科教授・元三菱総合研究所常務取締役)等が名前を連ねる。このように日本大学大学院グローバルビジネス研究科(MBAプログラム)の教授陣がバックアップしている。

Ji2のヨーロッパ戦略

主な実績として、フクダ電子(株)の、米国研究機関との医療用センサーの共同開発、MEIKO Auto Parts USA,INC.の、日本からの資金調達と創業支援等がある。

具体的手法は、米国のビジネス・インフラと建物施設の統合サービスを提供する最初のビジネス支援事業者であるエンフラストラクチャー社(Infrastructure, Inc.)と、戦略的パートナーとして連携し、各種のサービスを提供している。また、ヨーロッパの製品技術開発に関わる情報収集・提供も射程に入れ、フランスにあるナノベーション社との戦略的パートナー提携も有している。

参考に、この利用料金表によれば、短期オフィス・リースとバイリンガル秘書が\$750/1週間、中長期オフィス・リースとバイリンガル秘書が\$1200/1ヶ月となっている。



県内中小企業主要業種の景気動向 (9月末調査)

表の見方: 売上-景況感: 好転・増加 変わらず 悪化・減少

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
味噌・醤油・肉(国産)	油(子)製造業						
食肉(国産)	子(肉)製造業						
米	穀(米)製造業						
ねん	糸(綿)製造業						
織物	色(織)物製造業						
ニット	工業(繊維)物製造業						
毛織	物(繊維)製造業						
合成	繊維(化学)物製造業						
靴	下(靴)製造業						
メンズ	洋服(男性)製造業						
婦人	洋服(女性)製造業						
製銘	材(木)製造業						
集家	(美濃)家具製造業						
家具	(飛騨)家具製造業						
東濃	(濃)家具製造業						
家特	紙(特殊)加工業						
紙	紙(普通)加工業						
印	刷(印刷)業						

不透明感強まる

企業マイナスの低下

9月景況調査

化、低価格輸入品との競合による受注(販売)価格の低下により、依然として景況悪化の状況が続いている。

収益状況、資金

中央会が主要業種八十五組合を対象にまとめた「九月の特色」と「十二月までの景況の見通し」は次のとおり。

〔九月の特色〕組合から見た県内中小企業の特徴は、景況悪化状態が続く先行き不透明感強まる となっている。

繰り状況においても水面下での若干の改善はあるが、売上の頭打ちと価格低下により厳しい状況で推移しており、同業者の廃業や取引先関係の倒産による信用不安、企業マイナスの低下が懸念される。

〔十二月までの見通し〕十二月までの景気動向予想はD1値マイナス60ポイントで、当月実績のマイナス48ポイントに対し、12ポイントの大幅な悪化予想。一部のくく少数の業種に季節需要による改善予想が出ているが、ほとんどの業種は悪化状態である。

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
プラスチック							
陶磁器(工業)							
陶磁器(輸出)							
窯業	原料(れんが)						
耐火	灰(生)						
生利	産(砂)						
砂利	産(石)						
砕石							
鑄物							
刃物等金属製品(輸出)							
刃物等金属製品(内需)							
メッキ							
県金属工業団地							
可児工業団地							
金型							
機械工具・工作機械							
電気機械器具							
輸送機							
各種物産品(観光)							
各種物産品(ギフト)							
陶磁器				-			
総合卸売業							
青水産物							
家電機器販売				-			
メガネ販売							
中古自動車販売				-			

業種	調査項目	売上	受注	収益状況	設備	景況感	見通し
石油製品販売							
共同店							
岐阜市商店街				-			
大垣市商店街							
多治見市商店街							
那市商店街				-			
高山市商店街							
車体整備							
タイヤ整備							
長良川畔旅館				-			
下呂温泉旅館							
高クリニン							
広告美術				-			
情報サービス				-			
映像制作				-			
飲食業							
土木(岐阜)							
土木(飛騨)				-			
土木・建築(羽島)							
建築(各務原)							
鋼構造物							
電気工事				-			
管設備工事				-			
建築板金							
産直住宅(付知地区)							
貨物運送(岐阜地区)							
貨物運送(県域)							

東濃
支所だより



TEL/FAX 〇五七二・一五・〇八六五
E mail: chuokai@quartz.on.ne.jp
多治見市東町一・九・三(美濃焼センター)
三利勝支所長 後藤 諭・渡辺瑞枝

産業観光への取り組み

東濃地域の地場産業である美濃焼は、「陶芸産地」ではなく「陶業産地」であるためか、他産地と比べて、消費者が産地を訪れるような企画や施設整備がされていないため、全国一の生産地でありながら、知名度は有田焼、九谷焼、備前焼等に遅れをとっているのが現状です。

しかし、最近では多治見市が陶磁器産業を「ビジターズ産業」と位置付け「オリベストリート構想」を推進する等、産地内でまつりが開催され、施設整備も官民で行われています。

そこで、民間企業が整備された事例を紹介します。

ギャラリー「すりばち館」

(土岐市駄知町)に創業九十年を超えるすり鉢のトップメーカー「マルホン製陶所」が既存の施設を整備し、昨年開館。すり鉢の歴史的资料の展示、産地内の人間国宝の製品等を紹介しています。開館日は金・土・日

七二(五九)八七三〇
陶磁資料館「白壁の館」
(多治見市市之倉町)に「丸木高木陶器」が今年十月に開館。市之倉は日本一のさかづきの産地で、さかづきのほか明治以来の産地製品を展示。また、全国の陶磁器製品を格安で販売する店舗もあります。【問い合わせ先】〇五七二(二二)三八三九

曜の三日間(予約の場合はいつでも可)。このマルホン製陶所の社長は、駄知陶磁器工業協の理事長です。【問い合わせ先】〇五

飛騨 支所だより



TEL/FAX 〇五七二・三四・四〇〇〇
E mail: chuokai@quartz.on.ne.jp
高山市天満町五・一・二(高山米穀軒ビル内)
松野信一 支所長 武田亨子 安田真也

お年寄りにマグロのお造り

—高山市—

高山市の公設地方卸売市場内にある高山市公設市場買受人協同組合(林利夫理事長)は、奉仕活動の一環として、マグロのお造り配膳事業を行っている。

同組合は、本年度から福利厚生活動に取り組んでおり、市内の四つのお年寄りの施設や社会福祉施設に配られ、配膳の日には組合の役員や組合員が参加した。

組合員は慣れた手つきで、勝浦近海で捕れた八十キロの備長

マグロを調理し、調理場には威勢の良い掛け声が響き、組合事業を盛り上げた。

また、組合員の好意で「デザート」にスイカも用意され、配膳先の各施設のお年寄りや子供たちはおいしそうなお造りに大喜びで、さばきたてのマグロに舌鼓を打ち、組合員に感謝の気持ちを伝えていた。

組合は、今後も機会のあることに奉仕活動に力を入れ、地域に貢献することとしている。

「緊急雇用創出特別奨励金」のご案内

岐阜労働局

最近の完全失業率は過去最高水準で推移し、仕事を探す求職者もなかなか職につけない状況が続いています。特に四十五歳以上の中高年齢者については、他の年齢層の人と比較して有効求人倍率が低いなど、再就職が厳しい状況にあります。

このため、厚生労働省では、緊急雇用創出特別奨励金を平成十四年三月一日まで全国発動しました。この奨励金は、非自発的失業者(解雇、倒産等の理由で失業を余儀なくされた者)又は公共職業訓練等の受講者のいずれかに該当する四十五歳以上六十歳未満の中高年齢者を雇い入れた事業主に支給されます。

【支給対象】次のいずれにも該当する事業主 雇用保険の適用事業主であること 公共職業安定所又は一定の要件を満たす無料・有料職業紹介事業者の紹介により雇い入れる者であること 常用労働者(短時間被保険者を除く一般被保険者)として雇い入れるものであること 雇い入れ日の前日の六ヶ月前の日か

高速道路料金は、便利でお得な別納カードのご利用を...

現金不要

料金一括翌々月払い

料金割引

お問い合わせは 協同組合 岐阜県高速道路利用センター
〒500-8227 岐阜市北一色1丁目20番11号(佐藤商店ビル2F)
TEL(058)247-2818 TEL(058)246-5981 FAX(058)247-2818





秋の叙勲・褒章

このたび受賞された中央会関係者の方々を紹介します。

叙勲

【勲四等旭日小綬章・産業振興功労】
山内翼氏 全国タイル工業組合・相談役

【勲五等双光旭日章・自動車整備事業振興功労】
古田忠好氏 恵那自動車整備販売協同組合・理事長

【同・発明考案功労】
山田昭男氏 元未来工業株式会社・代表取締役社長(元社) 岐阜県電機工業会・会長

【同・地方自治功労】
牧野政芳氏 岐阜県陶磁器原料工業協同組合・理事長(中央会・理事)

【勲五等瑞宝章・保健衛生功労】
鳥澤重男氏 岐阜県医師会協同組合・顧問

【藍綬褒章・水産物加工業振興功績】

中央会ホームページ
URL <http://www.chukokai.gifu.or.jp/>
Eメール
info@chukokai.gifu.or.jp

中央会関係者
叙勲五人、褒章五人

小野正行氏 中部珍味食品協同組合・理事長
【同・産業振興功績】

「新設組合への貸付制度」創設

商工中金と中央会が連携

商工中金では、組合を対象に、共同事業等の活性化支援及び経営革新・新事業創出・創業等の新たな取り組みに必要となる資金を、『コーポラティブ21』(組合に対する総合支援策)として融資されます。

その支援強化策の一環として、中央会との緊密な連携を基に、新設組合の方々に対象とする新たな貸付制度が創設されました。貸付制度の概要は、次のとおりとなっております。

【貸付対象者】新設組合のうち、中央会からの推薦がある組合(新設組合とは、設立後五年以内の組合)【資金使途】設立もしくは設立後の事業の継続・拡大

河野直喜氏 岐阜婦人子供服工業組合・理事長(中央会・副会長)
【黄綬褒章・業務精勵】
野倉正美氏 岐阜県銘木協同組合・専務理事 服部昇氏 協同組合岐阜県刃物会館(中央会・常任理事) 村瀬恒治氏 大昭和コンクリート製造土木協同組合・理事長

野倉正美氏 岐阜県銘木協同組合・専務理事 服部昇氏 協同組合岐阜県刃物会館(中央会・常任理事) 村瀬恒治氏 大昭和コンクリート製造土木協同組合・理事長

大昭和コンクリート製造土木協同組合・理事長

等により、必要となる設備資金長期運転資金【貸付限度】一組合あたり一千万円以内【貸付利率】長期プライムレート以上(固定金利)【貸付期間】三年以内

十月

1~2日 ぎふ・組合等産品フェアinラビロス六本木東(京都)

2日 岐阜県機械金属商業協創立30周年記念式典(グランヴェール岐阜)

3日 第34回関市刃物まつり(関市本町通り他)

4日 事務局代表者会議・全国大会特別委員会(東京都)

5日 岐阜県印刷工業協設立

【担保】原則 無担保【保証人】原則 組合役員
お問い合わせ等は、商工中金岐阜支店・〇五八(二六三)

「岐阜県企業リサイクルフォーラム」

(財)地球環境村ぎふ、中央会

県内企業や業界団体において、資源循環型社会の実現と、廃棄物の排出抑制や再資源化等にいかに取り組むべきかを探ることを目的に開催します。

【日時】12月10日(月)、13時30分~16時30分【場所】大垣市「ソフトピアジャパン」センタービル一階・セミナーホール

【内容】基調講演 「循環型社会は企業にもやさしいか？」

九一九一、又は中央会組織指導チーム・〇五八(二七七)一〇二まで。

【林】廃棄物政策研究所代表取締役 役和田英樹氏 事例発表 「溶融スラグ混入高流動コンクリートを用いたコンクリート二次製品」 昭和コンクリート工業(株) 造部長 荻須雅夫氏ほか
お問い合わせ等は、(財)地球環境村ぎふ・〇五八(二六四)一〇二一(内線八八八)、又は中央会調査労働チーム・〇五八(二七七)一〇三まで。

50周年記念式典(長良川ホテル)
7~8日 第24回たじみ茶碗まつり(多治見美濃焼卸センター)

25日 第53回中小企業団体全国大会(長野県)
27~28日 第2回秋の土岐美濃焼まつり(土岐美濃焼卸商業団地)



20~22日 秋の美濃焼新作展示会(セラトピア土岐)
22日 岐阜県地方最低賃金審議会

第18回土岐美濃焼伝統工芸品まつり(美濃陶芸村)
第15回岐阜県農業フェスティバル(岐阜アリーナ周辺)
29日 労働問題懇談会(ぎふ長良川ハイツ)

無事故で年末

笑顔で年始 12月11日、20日は、年末の交通安全県民運動実施期間です。